

免税を手書きでされていた方に朗報!!

eあっと免税 < iOS版 > 導入の手引き



iPad・iPhoneで簡単に免税電子化がはじめられます。

[他社送信で申請](#)

ネット回線接続

iPad/iPhoneを 用意



月額 1,600円



アプリの試用は、期間無制限で使えます！

まずは、使い方を確認してください。正式申込みで正規版としてお使いいただけます。

初回1か月目は無料期間



試用で入力いただいたデータは、国税庁へデータ送信されません。

① 店舗でご準備いただくもの

① iPad/iPhoneの準備



② インターネット回線



③ [eあっと免税を\[ダウンロード\]と\[お申込み\]](#)



② 所轄税務署へ免税に関する手続きを申請

- ① 免税店の登録
(既に免税店の方は不要)
- ② 免税電子化の届出
(他社送信を選択)⇒ [送信方法について](#)
- ③ 約1ヶ月後に販売場識別符号の通知を受領

！※！**ご注意**！※！
所轄税務署から販売識別符号の通知は、申請から時間がかかります。
1ヶ月程度の余裕をみた申請をしましょう。

[所轄税務署への免税電子化申込書はこちら](#)

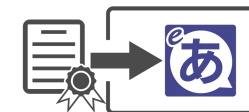
- ◆ [所轄税務署の所在地を知りたい方](#)
- ◆ [法人番号を知りたい方](#)

③ 免税電子化の設定

① ビジコムから設定する情報が届く



② eあっと免税の設定をする
⇒ [店舗情報を入力](#) ⇒ [アプリ基本設定を入力](#)



③ サブスクリプションで開始する



データ保存は、クラウドサーバが7年2か月保管します

[\(オプション\)パスポート情報を一瞬で読取り! パスポートリーダーアプリもあります!](#)

詳しくは、各項目リンクをクリックすると、関連ホームページが開きます。

⇒送信方法について

eあっと免税iOS版はビジコムサーバー経由で国税庁へ免税販売データを送ります。

■他社送信 (承認送信事業者送信)

月額 ¥1,600プラン はこちらの送信方法です。

1. 各店舗ごとの免税電子化申請を所轄の税務署に届け出
ビジコムの承認送信事業者識別符号を記載
2. 各税務署から販売場識別符号を各店舗分、取得。
3. eあっと免税に店舗情報等を設定
4. ビジコムのクラウドサーバーに免税データを送信、国税庁に転送
5. ビジコムのクラウドにて7年間保管サービス提供
6. クラウド分析あり

eあっと免税 iOSアプリ

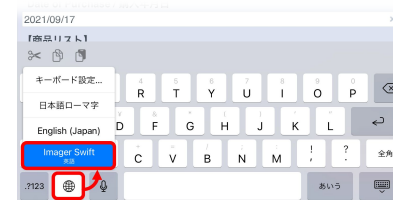


ビジコムの
クラウドサーバから送信
(承認送信事業者送信)

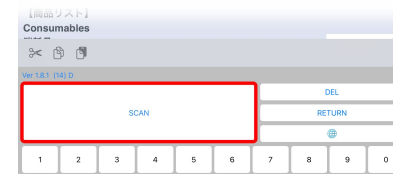
国税庁
サーバー

⇒パスポートリーダーアプリとは

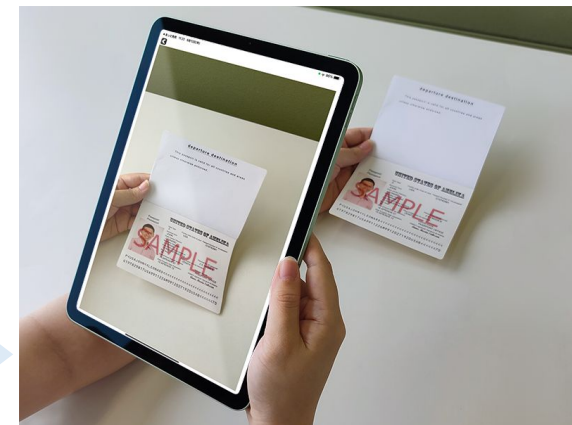
免税販売ではパスポート情報の入力に時間がかかりますが、この「eあっと免税」の「オプションアプリ」を使用すれば、即座にパスポート情報の入力を完了できます。



①キーボードの地球儀からキーボードを切替



②キーボードの「Scan」ボタンでカメラが起動



③カメラからパスポート情報を読取り

eあっと免税 (iOS版) 連携オプション パスポートOCRスキャナ

年額 6,600円

- ・アプリはキーボードとしてiPhone/iPadに登録されます。
- ・キーボードの「SCAN」ボタンでカメラが起動
- ・パスポート情報を一瞬で読取り、「eあっと免税」に反映します。

■試用からご購入、お使いいただけるまでの流れ

- ① AppStoreから「Imager Swift」をインストール(30日の試用が可能です)
- ② [ビジコムの通販ショップから購入](#)
ライセンス発行は最低10営業日(2週間程度)のお時間がかかります。
- ③ 「ライセンス有効化QRコード」がメールで返送
- ④ 「ライセンス有効化QRコード」を読み取りライセンスを有効化

説明動画・アプリダウンロードはこちらのマニュアルをご覧ください。